

のため、町内の読み聞かせボランティア団体や学校との連携・協力を取りながら、保育所や幼稚園、学校で読み聞かせやブックトークなどの読書案内を継続実施し、学校図書館活性化会議等の機会を通して、学校図書館の整備充実を支援します。

また、保健福祉課や社会福祉協議会との連携を密にしながら、乳幼児から高齢者までを対象としてブックスタート、絵本のひろば読み聞かせ、お年寄りのための読み聞かせや読書案内を引き続き開催し、町民の生涯にわたる読書環境の整備に努めます。

スポーツができるよう、各種スポーツ大会や年代別水泳教室を開催し、スポーツの普及と振興に努めます。

1 点目は、各種スポーツ団体との連携についてです。

町のスポーツ活動の推進に大きな役割を担っている厚岸町体育協会、スポーツ推進委員会、厚岸町スポーツ少年団といったスポーツ団体が実施する事業や組織運営の支援を継続するとともに、スポーツ指導者の養成と充実に努めます。

2 点目は、海洋スポーツの推進についてです。

海洋センター艇庫周辺の厚岸湖を活用し、小学生から高校生を対象にカヌー体験事業を実施し、海洋セン

スポーツの振興

スポーツは、爽快感、達成感、他者との連帯感といった精神的な充足をもたらし、体力向上や、精神的なストレスの発散、生活習慣病予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、人生をより豊かで充実したものにしてくれ

ます。明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、心身の健全な発達に必要不可欠なものです。

そのため、町民だれもがそれぞれの体力や年齢、目的に応じ、気軽にスポーツができるよう、各種スポーツ大会や年代別水泳教室を開催し、スポーツの普及と振興に努めます。

3 点目は、スポーツ障害について

スポーツは、健康増進のためには必要ですが、準備運動不足や過度な練習により健康を阻害することもあります。引き続き指導者養成研修への参加を促すとともに、スポーツ少年団をはじめ関係団体に対してもスポーツ障害への知識と予防に対する認識を広める取り組みを進めます。

4 点目は、スポーツ振興助成についてです。

各種スポーツ団体および個人の競技力向上を図り、全道大会や全国大会へ出場する際の経費の負担軽減に資するため、平成28年度に交通費および宿泊費の助成拡充を図ったところですが、利用者からは好評の声も聞かれ、スポーツの振興に大きく寄与していることから、引き続き支援を行います。

5 点目は、B & G 財団との連携についてです。

水に関連した活動を行い、体験学習により環境保全や防災について学ぶ『水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム』を、本年度も厚岸小学校で継続実施するとともに、小学生を対象とした着衣泳授業への指導助言のほか、事業実施に向けた財団との連絡調整等の支援を行います。

6 点目は、社会体育施設の充実についてです。



向上と施設の長寿命化を図ります。

その他の施設においても、その都度適切な補修を行い、維持管理に努め、多くの町民の皆さんに利用してもらえるよう努めます。

教育委員会としては、町長と相互の連携を図りつつ、新たな教育委員会制度によりその役割を担ってまいります。

また、町をはじめとした関係機関と連携を深めながら、本町の未来を担う子どもたちがたくましく成長していくことができるよう、学校教育の充実と町民が生涯にわたって豊かに学ぶことのできる生涯学習を推進してまいります。町民の皆さんならびに町議会議員の皆さんの、なお一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

厚岸町のまちづくりを

ふるさと納税で応援

～平成29年度厚岸町ふるさと納税基金の使い道～

問い合わせ／総務係

全額が控除されます。

寄附金の使い道

『ふるさと納税』は、寄附者とその寄附金の使い道を自由に選択することができます。

町では『保健福祉の向上に関する事業』『防災対策に関する事業』『地域産業の振興に関する事業』『観光振興に関する事業』『環境対策に関する事業』『教育振興に関する事業』『その他厚岸町の発展のために町長が必要と認める事業』の7つの使い道を設けています。

ふるさと納税は、納税という言葉がついていますが、自治体への『寄附』のことをいいます。

生まれ故郷に限らず、お世話になった自治体や応援したい自治体など、自分で選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）をすると、税金が軽減される制度です。

寄附額のうち2千円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税と住民税から

【基金取崩額】
33,000,000円

【基金積立額】
63,000,000円

寄附金から返礼品等の諸経費を差し引いた分を積み立て

【平成28年度寄附金額】
183,698,112円

平成28年4月1日～
平成29年2月28日現在

■平成29年度ふるさと納税基金活用事業

活 用 事 業	活用金額
1 保健福祉の向上に関する事業 ・乳幼児医療費の無料化分 ・保育料への助成	650万円
2 防災対策に関する事業 ・自主防災組織の防災活動および防災資機材整備への助成	150万円
3 地域産業の振興に関する事業 ・カキ種苗センター、きのこ菌床センター運営費など	700万円
4 観光振興に関する事業 ・観光パンフレット作成ほか観光宣伝費など	450万円
5 環境対策に関する事業 ・町民の森造成事業に対する助成	500万円
6 教育振興に関する事業 ・厚岸翔洋高校通学バス定期券購入助成 ・山形県村山市との子ども交流事業に対する助成	850万円
合 計	3,300万円